学校番号	1007

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	深学英語Ａβ	1	第２学年	表現のための基礎英語構文 ８６ Engage（イディオム、会話）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・深学Ａβは大学入試にむけて英語の応用力を高めることを目標にした授業です。
・実際に大学共通テストや英検などで実施された問題も扱います。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	書くこと	読むこと	話すこと （やり取り）
学習到達目標	・各構文やイディオム、会話表現を覚え、書くことができる。	・各構文の例題を読み、構文や単語の意味を抑えながら、全体の要旨を大まかに理解することができる。 ・イディオムや会話表現の例文を読み、その文章の概要を捉えることができる。	・構文の暗唱例文集を用いて、ペア間で暗唱をすることができる。 ・ペアが読む各例文の日本語訳を、支援があれば英語に直すことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	構文やイディオム、会話表現等の知識を身に付けている。	知識・技能を用いて、文章を適切に読むことができる。また、空所補充となっているものでは、どの語句を補充するかを適切に判断することができる。	知識・技能を用いて、文章を適切に読もうとしている。また、空所補充となっているものでは、どの語句を補充するかを適切に判断しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	基本構文１～42 イディオム 732～918	書くこと	a 例文を書くための幅広い表現の知識をつけている。 b 知識・技能を用いて、空所補充においてどの語句を補充するかを適切に判断することができる。 c 知識・技能を用いて、空所補充においてどの語句を補充するかを適切に判断しようとしている。	考査 授業内課題 小テスト
		読むこと	A 例文を読むための幅広い表現の知識をつけている。 b 知識・技能を用いて、例文を適切に読み、理解することができる。また、会話表現ではどの表現を使用すれば正しく答えられるかを適切に判断することができる。 c 知識・技能を用いて、例文を適切に読もうとしている。また、やり取りに必要な表現を調べ、使用しようとしている。	ペアワーク
		話すこと （やり取り）	a やり取りをするために幅広い表現の知識をつけている。 b 知識・技能を用いて、例文を適切に聞き、理解することができる。また、質問に対してどの表現を使用すれば正しく答えられるかを適切に判断することができる。 c 知識・技能を用いて、例文を適切に聞こうとしている。また、やり取りに必要な表現を調べ、使用しようとしている。	考査 授業内課題 小テスト
2	基本構文 43～67 イディオム 919～1057 会話表現 1058～1085	書くこと	a 例文を書くための幅広い表現の知識をつけている。 b 知識・技能を用いて、空所補充においてどの語句を補充するかを適切に判断することができる。 c 知識・技能を用いて、空所補充においてどの語句を補充するかを適切に判断しようとしている。	考査 授業内課題 小テスト
		読むこと	A 例文を読むための幅広い表現の知識をつけている。 b 知識・技能を用いて、例文を適切に読み、理解することができる。また、会話表現ではどの表現を使用すれば正しく答えられるかを適切に判断することができる。 c 知識・技能を用いて、例文を適切に読もうとしている。また、やり取りに必要な表現を調べ、使用しようとしている。	ペアワーク
		話すこと （やり取り）	a やり取りをするために幅広い表現の知識をつけている。 b 知識・技能を用いて、例文を適切に聞き、理解することができる。また、質問に対してどの表現を使用すれば正しく答えられるかを適切に判断することができる。 c 知識・技能を用いて、例文を適切に聞こうとしている。また、やり取りに必要な表現を調べ、使用しようとしている。	考査 授業内課題 小テスト
3	基本構文 68～86 会話表現 1086～1120	書くこと	a 例文を書くための幅広い表現の知識をつけている。 b 知識・技能を用いて、空所補充においてどの語句を補充するかを適切に判断することができる。 c 知識・技能を用いて、空所補充においてどの語句を補充するかを適切に判断しようとしている。	考査 授業内課題 小テスト
		読むこと	A 例文を読むための幅広い表現の知識をつけている。 b 知識・技能を用いて、例文を適切に読み、理解することができる。また、会話表現ではどの表現を使用すれば正しく答えられるかを適切に判断することができる。 c 知識・技能を用いて、例文を適切に読もうとしている。また、やり取りに必要な表現を調べ、使用しようとしている。	ペアワーク
		話すこと （やり取り）	a やり取りをするために幅広い表現の知識をつけている。 b 知識・技能を用いて、例文を適切に聞き、理解することができる。また、質問に対してどの表現を使用すれば正しく答えられるかを適切に判断することができる。 c 知識・技能を用いて、例文を適切に聞こうとしている。また、やり取りに必要な表現を調べ、使用しようとしている。	考査 授業内課題 小テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度